

# 元客室乗務員が講演

館山二中 1年生98人がおもてなし学ぶ

オリパラ教育

県教委のオリンピック・パラリンピック教育推進校として指定されている館山市の第二中学校（田村正雄校長）で2日、日本航空の元客室乗務員を招いた講演会が開かれ、1年生98人が「おもてなしの心」を学んだ。

講師は、日本航空の客室乗務員を30年務め、その後は筑波大学客員教授として国内外で年間

200回以上の講演活動を行っている江上いずみさん。



おもてなしについて語る江上さん(右)=館山二中で

講演では「グローバルマナーとおもてなし」と題し、「サービス」と「おもてなし」の違いについてや第一印象を高める5原則などについて語った。

江上さんは「相手のリクエストに応えるだけでは『対応』。どうやったかから相手が喜んでくれるのかを考え、行動することが『おもてなし』と生徒らに語り掛け、最後は機内アナウンスを披露し、会場を沸かせた。

鈴木有紗さん(12)は「事前キャンプなどで館山に来た外国人の方にも気軽に声を掛け、今回学んだことを生かしたい。機内アナウンスを聞いて飛行機に乗っているような気分でした」と話していた。